

# 富士宮市史講演会

## 豊かな実りを願い災厄を払う富士宮の祭り

### －富士山西麓に広がる民俗文化の宝庫－



市内には、富士山本宮浅間大社や日蓮宗系の富士五山を始めとする大きな社寺だけでなく、各地域のお堂や祠などにもさまざまな神仏が祀られている。そして、五穀豊穣や村内安全を願ったり、流行病や災厄を払ったりする祭りが盛んに行われてきた。なぜ、市域にはこのように多種多様な祭りが伝えられてきたのだろうか。本市の民俗文化を自然環境と歴史の中で読み解いてみたい。

講師

# 松田 香代子

愛知大学非常勤講師、富士宮市史編さん委員、  
富士宮市文化財保護審議会委員

武蔵大学人文学部日本文化学科卒業。静岡市内小中学校講師、静岡県史編さん室嘱託を経て、愛知大学非常勤講師。愛知大学総合郷土研究所研究員。文部科学省文化審議会専門委員。富士山信仰や山村民俗、自然災害、祭礼などを中心に調査研究をおこなう。富士宮市史編さん委員会委員で『富士宮の歴史 民俗編』の執筆を務める。共著に『千年に一度の大地震・大津波に備える』(静岡県文化財団)、『静岡浅間神社の稚児舞と廿日会祭』(静岡新聞社)、『古地図で楽しむ富士山』(風媒社)、『ふるさと山梨の民俗世界』(アスバラ社)、『衣の民俗事典』(柊風舎)など。

日時

2026年 3月 28日 (土) 14:00～15:30 (開場 13:30)

会場

駅前交流センターきらら 集会室 (富士宮市中央町5-7)

定員

80人 (先着順)

入場料

無料

【申し込み】 2月20日(金)から電話・WEBサイトで受付

電話

0544-22-1187 (富士宮市文化課 平日 8:30～17:15)

WEB

<https://logoform.jp/form/GgrE/1379790>



Web 申込はこちら▶